

研究種別	一般研究課題	
研究課題名	消費者に好まれる鶏ムネ肉生産技術の開発	
研究期間	3年度 ～ 5年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	4.2
[コメント] 飼料中のタンパク質量調整技術は鶏ムネ肉の価値向上に向けた重要な成果であると考えられる。ムネ肉のドリップロスおよびせん断力価の低下は鶏肉の価格上昇に重要であると考えられるため、普及に向けた技術開発につなげてほしい。成果の活用と留意点に記載しているように、飼料費低減に向けた取り組みを進めていただきたい。		

事後評価報告書

研究種別	成長戦略課題	
研究課題名	ブロイラーにおける暑熱時の生産性低下防止技術の開発	
研究期間	3年度 ～ 5年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	4.0
[コメント] 有機酸およびアミノ酸添加により暑熱時の収益性の向上が可能となる成果であり、収益性についても計算されていることから普及に向けた活動を期待します。炭酸ファインバブル水給与の試験では有意差は見られないものの粗収益が向上するとの結果を出しているが、導入費用や製造に係る電気代等も入れた形で示すことができればより良い成果になったのではないかと思います。		

事後評価報告書

畜産酪農技術センター課題評価会議

令和6年 8月23日

研究種別	一般研究課題	
研究課題名	ホルスタイン種における簡易的な採卵プログラムの確立	
研究期間	H31年度 ~ R5年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	4.4
[コメント] 牛への負担の少ない方法が求められていることから、従来法と変わらない採卵成績を得る手法の開発がなされており、良好な研究成果である。普及活動を進めていただきたい。		

事後評価報告書

研究種別	一般研究課題	
研究課題名	乳用若齢牛のパフォーマンスを發揮させる哺育・育成管理技術の開発	
研究期間	3年度 ～ 5年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	3.8
[コメント] 高度哺育プログラムがその後の発育および生産性に悪影響を与えないことを明らかにした重要な成果である。ただし、育成プログラムの開発については十分な成果を得られなかった。期待される成果として記載されている発育性の向上や大きく発達した反芻胃などの部分についての記載があるとより理解ができたかと思えます。こ 高度哺育プログラムについては費用低減効果も高いので普及を進めていただきたい。		